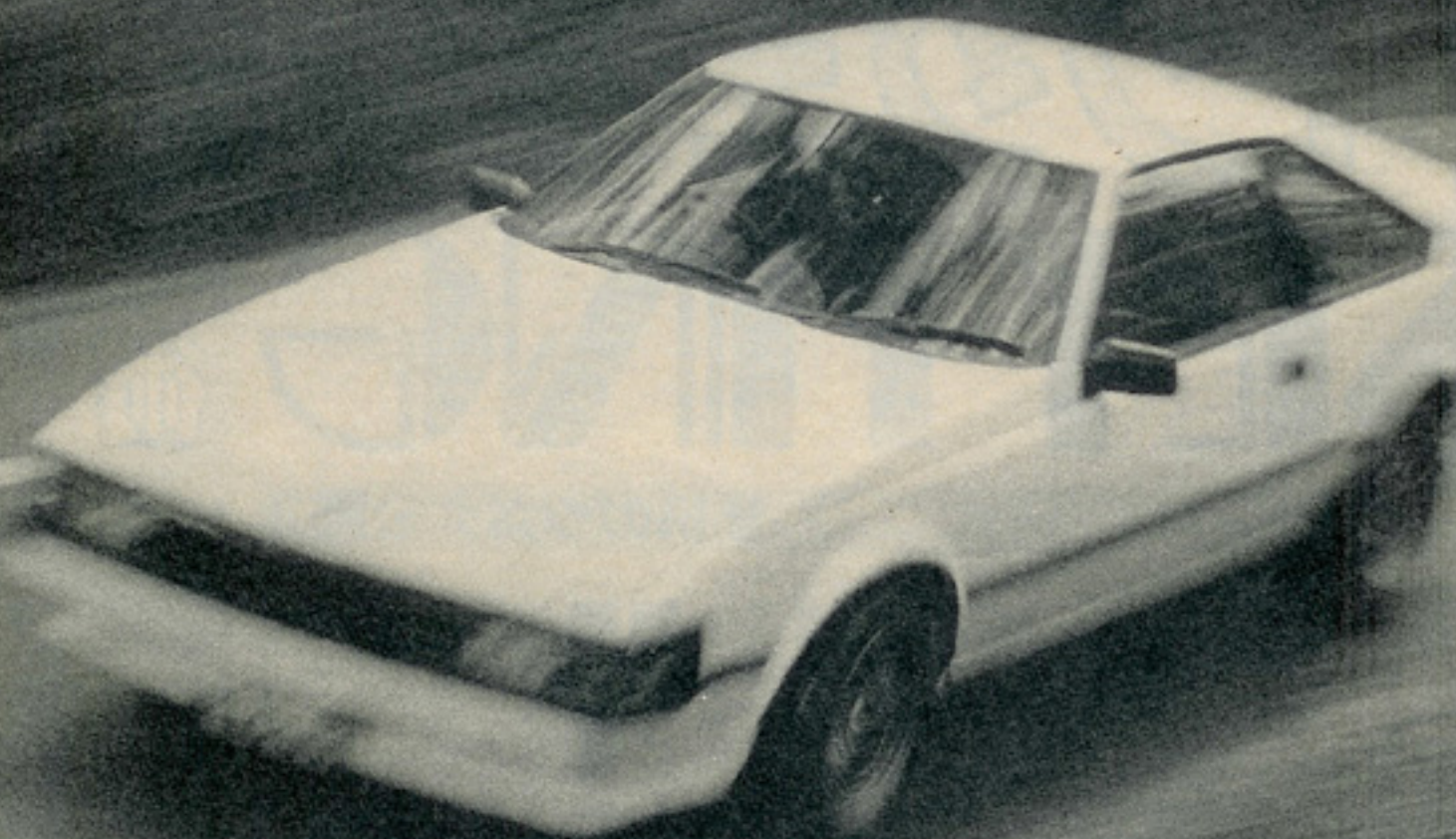




5M-GEEU改TD05x2

300馬力にセットしたパワー これがベストストリート仕様!!

エンジンはノーマル、クラッチもノーマル……こいつを最低条件にして、5M-Gをターボチューンする。

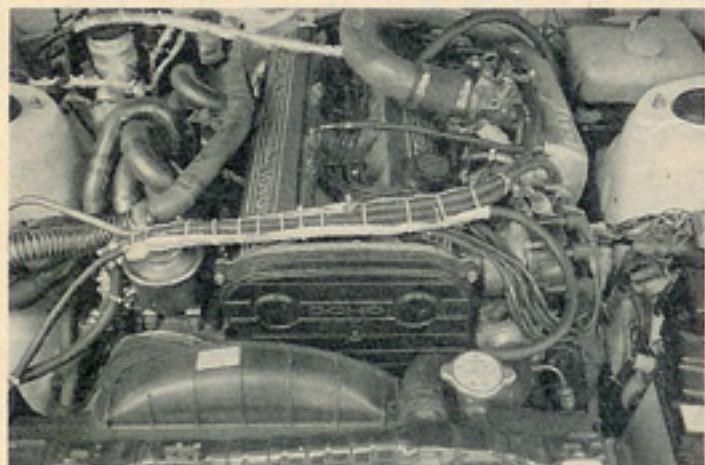
TD05をツインで装備し、使用方法は、最高速っぽい走り、使いこなせるビッグパワー……そんな目標をもって製作されたのが、このマシンだ。おまけに、燃料は、メインノズルのみを使う。この状態で300馬力



→07年/08年のブースト圧で、300馬力をマークする。ウエストゲートはHKS製。

←SPLタイプの大容量インタークーラーは、パワーの基本。

↓EXマニホールドがうねる5M-Gツインターボは、圧縮比8.5。



を絞り出し、ストリート用としてベストセッティングを目指す。これこそ、トライアルの得意とするチューニングだろう。

低速トルクのある5M-Gは、ブリストポイントを高めにセットしてはつきりとした性格を打ち出している。TD05タービンは、コンプレッサーをTD06のものに交換し、より高速寄りにセットされている。

4000回転を超えると、5M-Gツインターボは、グンと力強さを増す。そして、5000回転からレブリミットまでの1000回転+αくらいが、最も楽しいところ。

ファイナルが3.7なので、5速はすぐに振り切ってしまう。絶対的なスピードよりも、体感加速を楽しむといったほうがいいかもしれない。

3速フルブーストでの加速は、掛け値なしにオモシロイ!

すこしばかりの恐怖感をもちながらも、オーバー1400馬力のマシンのように必死になるほどのものではなく、すこし余裕をもってツインターボパワーを味わえるのだ。トライアルのチューニングは、独特の味をもちはじめてきたようだ。